

成長の変遷

創業以来、変わりゆくお客様の“はたらく”に変わらずに寄り添い続け、新たな価値を提供し続けています。また、環境保全と利益創出を同軸にとらえる環境経営に早くから取り組むなど、持続可能な社会を目指し活動しています。

これらは、創業の精神「三愛精神」に基づくものです。リコーグループは今後も事業活動を通じた社会課題解決により、「“はたらく”に喜びを」というビジョンの実現に向け挑戦を続けます。



「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」という創業の精神「三愛精神」。SDGsの原則「誰も取り残さない社会」という考え方に通じる。

「機械にできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事をする」ことを目指し、オフィスオートメーション(OA)を提唱。

ESGの取り組み

- 1976年 環境推進室設立
- 1992年 環境綱領制定
- 1994年 コメットサークル™制定
- 1998年 環境経営提唱
- 2000年 社外取締役招聘、執行役員制度導入
- 2002年 Three Ps Balance制定
- 2002年 国連グローバル・コンパクトに署名
- 2006年 2050年長期環境ビジョン策定

リコーグループの価値提供

- 事務機分野進出
ジアソ複写機の1号機
「リコピー101」発売
- デジタル化を推進
アナログ複合機から
デジタル複合機へ移行。
ネットワーク化・カラー化を
推進
- ワークスタイル変革
ITサービスやコミュニケー
ションサービス・デバイスを
提供

世の中の働き方の変化

- 「手書き」から
「ワードプロセッサ」へ
- PCが一人一台へ
- カラーコンテンツが増加
- インターネット利用が拡大
- オフィス文書が紙から電子保管へ

1940

1990

2000

2036年ビジョン
“はたらく”に
喜びを

2017年
EMPOWERING
DIGITAL
WORKPLACESを
策定

2020年
デジタルサービスの
会社への変革を
宣言

デジタルの力により、人と情報をつなぎ、人の伝える力、人の生み出す力を支えることでアウトプットの質や量を向上させていく。

お客様ごとに異なる課題をくみ上げ、リコーグループの技術力とデジタルの力を掛け合わせて、それぞれのお客様に最適な解決策を提供することで、はたらく人の創造力を支え、ワークプレイスを変えていく。

- 2014年 マテリアリティの特定
- 2017年 日本企業で初めてRE100に参加
- 2017年 経営戦略に基づきマテリアリティと新環境目標を設定
- 2018年 ESG委員会設立
- 2019年 リスクマネジメント委員会設立

- 2020年 ESG目標を開示
- 2021年 人権方針策定

- 多様な働き方への支援
自社の働き方変革をベースにした
ノウハウの提供

- 通信高速化・大容量化
- ペーパーレス化が進展

- AI活用が拡大
- リモートワークの普及

2010

2020

2030